令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	公民館	事業No.	297
会計	一般会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	南信濃学習交流センター維持管理事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等	○	飯田市南信濃学習交流センター条例	
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令	

事業目的		
	対象	施設設備及びその利用者
	意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供する

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地域の生涯学習活動の拠点として、多くの住民に利用して頂けるよう会議室の貸し出し業務を行いました。 放課後の子どもの居場所としての役割を果たしました。 安全に使用していただくために、消防設備の法定点検、自主点検等を行いました。 老朽化に伴う修繕に対応しました。 耐用年数を迎えたＡＥＤを更新しました。	消耗品費	38
		光熱水費	657
		通信運搬費	125
		委託料	376
		その他の経費	114

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
	南信濃学習交流センター利用者数	人	8,000	7,284	8,000	5,181	8,000	5,700		

1年度決算(千円)				特定財源内訳及び補足事項
	予算額		1,607	
	決算額		1,310	（そ）使用料
	財源の状況	国庫支出金	0	
		県支出金	0	
		地方債	0	
		その他	4	
		一般財源	1,306	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	3	1,607	1,310	南信濃学習交流センター管理・運営費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	施設を利用している飯田市社会教育関係団体の会員数の減少や利用回数の減少により、施設利用者数が年々減少していますが、図書分館が併設されていることから、放課後の子どもの居場所としての機能も併せ持っており、地域住民にとって大事な施設となっています。
上記の課題解決のための有効策	子どもの居場所としての機能を継続しながら、地域づくり団体や社会教育関係団体の活動支援を行い、南信濃公民館（南信濃地域交流センター）と共に施設の利用促進につなげます。
次年度に向けての取り組み	南信濃老人福祉センターが老朽化で取り壊しとなりますが、当施設で活動を継続する団体にも安心してご利用いただけるよう引き続き適切な管理運営を行います。